

# 平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。  
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	132401						
事務事業名	乳幼児健康診査事業	担当部局 健康福祉部 健康福祉課					
事業内容	乳幼児とその保護者を対象に乳幼児健診、幼児の相談・個別相談、乳幼児発達相談、のびのび教室の各事業を実施する。						
	事業開始(予定)年度	昭和57年度					
	事業終了(予定)年度	—					
この事業の 上位施策	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
	項目	きめ細かな地域福祉の推進					
	施策	市民の健康づくり推進（母子）					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	出生率低下、核家族化等親子をとりまく環境は大きく変化している。伊丹市でも子育てに自信が持てない母親の割合が乳児期32.6%、幼児期45.7%と全国平均27.4%に比べて高くなっている（伊丹市健康づくり計画アンケートより）。子どもの健康状態を把握することで、疾病の予防・早期発見・早期治療や保健指導を行い、子どもの健康な生活や健全な発育をはかる。また、子どもがよりよく成長・発達するためには、保護者、家族全体の関わりが重要であり、保護者への適切な育児支援を提供する。そのことによって、当事業で把握された課題点を虐待予防を含め、地域全体の課題としてとらえ、市全体の健康の向上を図ることを目的とする。	<b>予算費目</b> （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。） （款） 衛生費 （項） 保健衛生費 （目） 予防費 （事項） 乳幼児健康診査費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	財源内訳		事業費	財源内訳		
		国・県補助金等	—		国・県補助金等	—	
		市債	—		市債	—	
		その他(使用料等)	—		その他(使用料等)	—	
	一般財源(市税等)		34,996千円	一般財源(市税等)		35,657千円	
投入人員	4.27人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	4.27人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
人件費	36,577千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	人件費	36,577千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
経費合計	71,573千円		経費合計	72,234千円			
活動指標	指標名(単位)	受診者数(人)	計画と実績	年度	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	乳幼児健診事業の利用者の合計数		区分	計画値	8,878	8,700
				実績値	8,402		

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。